

みなさん、明けましておめでとうございます。いいお正月が過ごせましたか。暖かい元旦でしたが、仕事始めの4日には雪が降り、冬の霧島連山を見て、身を引き締めたところです。

三学期、3年生は社会へ巣立つ前の、1・2年生は次の学年への準備のための大切な期間です。充実した期間となるように、努力しましょう。

さて、今年は「辰（たつ）年」です。干支では5番目（神様への新年のご挨拶に12の動物が集まったときの順番に従って）です。

「登竜門」：竜門は中国の黄河中流の急流で、ここを登った鯉は竜になると言われたことから、困難ではあるが、そこを突破すれば、立身出世ができる関門。

というのがあります。今年の辰年こそは、「昇竜」のごとく、何事も登り（上り）調子になっていく年にしたいものです。

2012年は、世界が大きく変わる年と言われています。しかし、みなさんには、激動する社会の中でも、逞しく生き抜く力を身に付けてほしいと思っています。そのために、自分自身も含めて、みなさんにも、次のことを心掛けて、自分をさらに磨いていく年にしていってほしいです。

・「今を大切に生きる」

人生、どのように過ごしても、時間は経過していきます。やりたいことがあっても、また、やらなければならないことがあっても、第一歩を踏み出して取り掛からなければ、後悔することになります。また、いついかなるときに、昨年度の大震災のようなことが起き、一度しかない人生が、どのように大きく変わるか分かりません。どんなときでも、今を大切に、一生懸命生きていると言える生活を送っていききたいものです。

・「前向きに考える」

一生懸命に取り組んでいても、上手くいくときもあれば、そうでないときもあります。上手くいかなかったときこそ、どのように考えて、次をどう取り組んでいくかが問題だと思います。そのときを、さらなる飛躍のチャンスのとくと前向きに考え、自らの取組の工夫・改善を図る機会として捉えられるようになっていききたいものです。

・「挑戦する」

飛躍する、進歩するためには、何かに挑戦していくことが必要です。例えば、就職を目指したいのであれば、それに必要な資格に挑戦する。出発点は易しいことであっても、一步一步小さな階段に継続的に挑戦していくことで、その積み重ねは大きな成果につながっていきます。まずは、小さなことへの挑戦からスタートしていってほしいと思います。

こんなことを考えているときに、昨年末に知った歌を思い出しました。大震災に遭った仙台市立八軒中学校の合唱部が復興を祈願するために演奏した合唱曲です。みなさんも、すでに知っていると思いますが、「あすという日が」とい

う曲です。

「あすという日が」 作詞：山本瓊子（ようこ） 作曲：八木澤教司

大空を 見上げて ごらん
あの 枝を 見上げて ごらん
青空に 手をのぼす 細い枝
大きな 木の実を ささえている
いま 生きて いること
いっしょうけんめい 生きること
なんて なんて すばらしい
あすと いう日が あるかぎり
しあわせを 信じて
あすと いう日が あるかぎり
しあわせを 信じて

あの道を 見つめて ごらん
あの草を 見つめて ごらん
ふまれても なおのびる 道の草
ふまれた あとから 芽ぶいてる
いま 生きて いること
いっしょうけんめい 生きること
なんて なんて すばらしい
あすと いう日が くるかぎり
自分を 信じて
あすと いう日が くるかぎり
自分を 信じて

この歌詞を心に留めて、「辰年」を「飛躍の年」とするのならば、みなさんが、
取り組まなければならないことに対して、今、話した、

「今を大切に生きる」 「前向きに考える」 「挑戦する」
の気持ちを常に意識して、意欲的に、今年1年を過ごしてほしいと思います。